

しんあい なる ムスリム の みなさま！

イスラームは、あらゆるしゅるいのりしはハラームであることをめいかくにだんげんしています。りしのからむかつどうは、さいだいのつみのひとつとみなされます。ぜんのうのアッラー（スプハーナワタアラー）は、ホトバのぼうとうでいんようしたしよくをもってしんこうしゃにつぎのようにけいこくしておられます。「しんじるものたちよ。あなたがたは、なんばいにも、またなんばいにもなるりしをむさぼってはならない。アッラーをおそれなさい。そうすれば、あなたがたはさかえるだろう」。¹

そんけい すべき しんこうしゃ の みなさま！

アッラーのすべてのめいれいときんしは、しもべたちのためになされたものです。すべてはげんせにおけるへいあんとらいせにおけるこうふくのためです。イスラームにおけるりしのきんしは、ごじんとしゃかいのりょうほうのめんでおおくのちえがあります。りしはざいさんだけではなく、じんせいそのもののバラカをへらしてしまいます。りしははさんをくにしておおくのじしやかぞくほうかい、むなしいじんせいをひきおこします。りしがあたりまえのこととされるしゃかいには、きょうつうしてていしよとくしゃとひんこんそうがそんざいします。

しんあい なる ムスリム の みなさま！

りしによってじぎょうをおこなうひとびとは、たとえじぶんではらくらくとたやすくりえきをあげられているとおもっていても、じっさいにはうしなっているのです。ぜんのうのアッラー（スプハーナワタアラー）は、このことをクルアーンにおいてつぎのようにつけておられます。「アッラーはりしをくじくが、じぜんにはりしをつける。アッラーはおんをわすれるつみぶかいものをあいさない」。²

ザカートとサダカをさしだすひとのざいさんは、バラカをえてふえるのです。かれらは、じぶんじんのざいさんからおんけいをえます。こころはへいあんでみたされ、こういのきろくはほうしようでみたされます。はんたいに、りしはざいさんのバラカをけてしてしまいます。つみのほかには、なんのりえきもえられませんが、せいしんてきにもぶつしつてきにも、はめつをひきおこします。アッラーのしと（かれのうえにへいあんあれ）は、りしをうけとるものがさいごにはりしにほろぼされることを、つぎのようにいいあらわしています。「りしによってふやしたとみは、なんのえきももたらさない」。³

しんあい なる ムスリム の みなさま！

¹ Al 'Imran, 3/130.

² Baqarah, 2/276.

³ Ibn Majah, Trade, 58.

わたしたちのしゅうきょうがはっするあらゆるけいこくにもかかわらず、りしをてばなしたがらないひとびとがちよくめんするざせつについて、クラーンはずぎのようにしらせています。「**[ふっかつのひ、]りしをむさぼるものたちは、あくまにふれられたもののようにしかたつことができない。それはかれらが『とりひきとは、りしをとるのとおなじようなもの』などというため**」。⁴ですから、れきしをとおしてけいざいにおけるさくしゅとよくあつのさいだいのしゅだんのひとつであつたりしというさいやくをさけましょう。りしによってえたとみからはりえきをえられないことをりかいしましょう。つかのまのげんせにおけるせいの中かで、よりおおくのとみをかせごうとするのではなく、ハラールなとみをかせぎ、ハラールなやりかたでもちいるようつとめましょう。しんぱんのひ、じぶんがどのようにかせぎ、またどのようについやしたかをもうしひらきしないかぎり、アッラー(スプハーナワタアラー)のおんまえをはなれることはできないことをつねにわすれないようにしましょう。

ほんじつのホトバを、いとたかいアッラー(スプハーナワタアラー)のつぎのけいこくをもっておわります。「**しんじるものたちよ。あなたがたはアッラーをおそれなさい。のこっているりしをほうきしなさい、もしあなたがたがしんこうしゃなら。もしそうしないなら、アッラーとそのしとからのたたかいがあるものところせよ。しかしもしあなたがたがくいあらためるなら、あなたがたのげんしはてもとにのこされる。それであなたがたがふせいをなすことも、ふせいをなされることもない**」。⁵

⁴ Baqarah, 2/275.

⁵ Baqarah, 2/278-279.